

2018~2022年度の助成先のご紹介

(五十音順にて紹介しています)

綾瀬川を愛する会

綾瀬川は高度成長期に工場の排水や生ごみ・粗大ごみに埋まり、10年連続で第一級河川汚濁全国ワースト1位となりました。その際に本会を立ち上げ、川の清掃から始まり、綾瀬の森自然維持区を創りました。そして、2021年には自然と健康を結ぶ「綾瀬川素足遊歩道（アーシングロード）」を創り、2022年10月には川口市立戸塚公民館でウエルカム・コンサートと共に「綾瀬川素足遊歩道シンポジウム」を開催しました。

活動地域 川口市



県および市共同の清掃にて収集したゴミ

NPO法人 荒川の自然を守る会

子どもたちの未来に豊かな自然環境を残そうと立ち上がった団体です。現在では多くの賛同者から成り、荒川流域の「三ツ又沼ビオトープ」を中心に活動し、官民協働で自然保全に取り組んでいます。

活動地域 上尾市



三ツ又沼での生物調査

上谷沼周辺の自然を守る会(旧 ふるさと上谷沼 地域創造塾)

水と緑の空間である上谷沼調節池とその周辺を「私たちのまち」と考え、生息する動植物を守り、自信をもって次世代に渡せる地域づくりを目指しています。夏の外来種抜きや近隣小中学校への出前授業、自然観察も行っています。

活動地域 さいたま市南区・川口市



地元の小中学生と一緒に外来植物を抜いて草原を守ります

エコ田んぼNORA

有機・無農薬、手作業による田植え、稲刈りなど伝統的農業を継承して生物多様性あふれる水田の保全に努めるとともに、地域や学校に開放し、農業と自然の豊かさを学び合いながら地域コミュニティづくりを目指しています。

活動地域 ふじみ野市



秋の日差しで干した稲の脱穀風景

NPO法人 エコ.エコ

生物多様性の保たれる空間を広げる活動を続け、今年で10年目に入りました。希少な動植物や多くの生きものたちが生きているマルコ（湿地）を、いい形で次世代に手渡すことがメンバーたちの夢です。

活動地域 さいたま市緑区



七代目「龍神・マルコ」開眼式

NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川

1989年、荒川支流の江川において貴重な自然が残存しているのを知り、トラストを発足させました。そして、自然環境の保全・再生活動を行い、荒川の原風景を再現しました。今後も、荒川中流域のサクラソウネットワーク実現に向けて活動を続けていきます。

活動地域 上尾市



荒川原風景を市民で再現しました

OSふじの森の会

2015年より市所有の雑木林にて間伐や下草刈り、落葉掃きや散策路整備、希少植物の観察や保全等を進めており、明るい森になってきました。近隣住民同士の交流も進み、里山づくりを楽しみながら活動しています。

活動地域 所沢市



間伐材を利用した散策路の階段整備

大台東美化クラブ (旧 大台東緑化クラブ)

「笑顔あふれる地域づくり」をモットーに、地域内の水路及び大台ふれあい広場の除草・植栽及び清掃作業を行っています。ふれあい広場が子どもから高齢者までが集える地域の活動の拠点となるべく取組んでいきたいと思えます。

活動地域 深谷市



ふれあい広場西側の水路風景

おおたかの森トラスト

武蔵野の平地林を「おおたかの森」と名付け、8か所の樹林を募金により購入するとともに、地権者から森をお借りし、行政と連携をしながら自然再生に取り組んでいます。また、小学校やこどもエコクラブでの環境教育を通じて、未来の担い手の育成に取り組んでいます。こうした環境保全に対する約30年の功績が認められ、令和4年秋に天皇陛下より緑綬褒章を賜りました。

活動地域 所沢市・狭山市・川越市・三芳町・入間市



所沢市役所での緑綬褒章贈呈式
(左：藤本正人 市長、右：中村俊明 副市長)

柿沼堀を守る会

古い農業用水路を整備し、自生している半夏生などの希少植物の育成と月2回の除草・清掃を実施しています。11月に開催している親子マス釣り大会を通して地域の交流を深めています。

活動地域 熊谷市



親子マス釣り大会

2018~2022年度の助成先のご紹介

風間 健太郎

早稲田大学・野生動物生態学研究室と連携し、所沢市やその周辺の自然環境の調査・研究および保全活動を行っています。身近な自然の中に生息する生き物のことを専門的に調べることで、野生動物が生きていくうえで必要な生息地を守っていきたいと考え、活動をしています。

活動地域 所沢市



カワネズミの生息確認調査

加治丘陵につつじを植え戻す会

入間茶畑を一望する加治丘陵里山の緑豊かな環境保全に努めており、主に間伐や下草刈り、植林を実施しています。四季折々の野鳥の声を聴きながら、山つつじの赤・ミツバつつじの紫・ゆりの白を眺めながら、皆さんに散歩道を楽しんで頂いています。

活動地域 入間市



散歩道沿いに休憩用ベンチ作り

加治丘陵遊々クラブ

森林保全活動で得た12年間の「経験」や「技能」を多くの方に伝えるため「きこり体験会」を開催しています。入間市の広報誌などへの掲載の効果もあり、予想以上に一般の方が森林の保全作業に関心があることが分かりました。この体験会を通して、新しく入会した会員も多く、今後も継続発展させて行きたいと考えています。

活動地域 入間市



平均年齢67歳の面々です

NPO法人 北本雑木林の会

JR高崎線を桶川市から北本市に入ると約1kmに亘り緑のトンネルが続きます。ここが北本市のシンボル「北本中央緑地」で、活動の拠点です。私たちが保全活動を行うこの緑地は子どもたちの遊び場・散策コース・イベント会場など、市民の憩いの場となっています。

活動地域 北本市



中学生による体験腐葉土づくり

認定・指定NPO法人 熊谷市ほたるを保護する会

熊谷江南に自生するゲンジボタルが、夜8時過ぎに沢山飛び交う5月下旬から6月中旬まで、ホタル観賞案内所を20日間開設しています。また、新たに江南中学校隣の3,500㎡のクヌギ林に遊歩道やベンチ等を整備しました。乳幼児も自然に親しめる、昔ながらのホタルの里山にしています。

活動地域 熊谷市



乳幼児から楽しめるホタルの里山づくり

NPO法人 くまがや地域通貨研究会

「まちに良いこと」参加者に、協力店で利用できる「くまがやありがとう券」を差し上げています。ゴミ拾い&まち歩き「スカベンジャー」や、生物多様性を考える「イエローハンカチーフ・プロジェクト」等を実施中です。

活動地域 熊谷市



外来種を用いた草木染（児童養護施設にて）

高麗川ふるさとの会

今年は活動20周年になります。浅羽ビオトープの整備初期は水中でメタンガスが発生し、ゴミが大量に流れ込んでいる状態でしたが、清掃活動を続けることで水質は本流と同じまでに回復し、多くの小魚も棲息するようになりました。

活動地域 坂戸市



水中作業用手袋を用いた水草の除去

埼玉県生態系保護協会 加須支部

加須市大利根地域にある「お花が池」の水辺環境保護活動を中心に、市内での自然観察会や「はなさき水上公園」「さいたま水族館」などのイベントにも協力し、活動を広めています。

活動地域 加須市



外来種捕獲大作戦 がんばるぞ！

笹目川的环境を守る会

地域の生活に潤いをもたらす水辺に貴重な自然環境を取り戻し、住みよいまちづくりの推進に寄与するため、河川の清掃、水質の調査、水辺の生きもの調べなど、自然観察活動を行ない、河川環境の保全の重要性を訴えています。

活動地域 さいたま市南区 他



笹目川河畔の清掃活動

学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部

調査対象の芝川についての最新の成果を、『埼玉県立川の博物館紀要21号』に掲載いただき、博物館のHPで閲覧が可能です。地震の研究（県内に残る1923年関東地震の記録調査）や、物理・化学・生物の各分野の個人研究も、地道に進めています。

活動地域 さいたま市（見沼区等）・上尾市・川口市



芝川砂橋周辺の清掃活動（2020年2月）

2018~2022年度の助成先のご紹介

NPO法人 自然環境観察会

県内の自然環境の観察・保全・研究会・環境教育を行い、会員の自然観の向上を目指しています。庭や農地に設けた生態補償地（緑のオアシス）の昆虫類や鳥類の調査を定例で行なっているほか、夏休みの昆虫採集と標本作りの講習会や、秋冬には年次展示・講習会を行っています。

活動地域 上尾市



生態補償地の定例観察会

NPO法人 ジョイライフさやま

環境への意識向上と豊かな自然を大切にすることを養い、自然環境が織りなす未来を子供たちに継承するために、自然を破壊する不法投棄を無くし、緑多き環境を作ることに取組んでいます。劣化した樹林の回復と持続可能な樹林の保全をしながら、荒廃した環境課題解決を図り、人と人とのつながりによる地域環境の創出を図って行きます。

活動地域 狭山市



「環境の未来と夢を子供たちとともに」
水辺周辺整備による自然の森あそび

白子川と流域の水環境を良くする会

当会の活動拠点は、白子川・芝屋橋に設置された親水公園「わくわくパーク」です。毎月の川掃除、5月の稚鮎の放流、水質検査や水生生物調査などの活動をしています。また、水中を泳ぐアユの様子を動画配信しています。

活動地域 和光市



わくわくパークでの河川清掃

新河岸川水系水環境連絡会

当会は、2017年に国土交通省関東地方整備局より「河川協力団体」に指定されました。毎年実施の「身近な川の一斉調査」は2022年の6月で33回目を迎え、流域28河川の調査定点230地点を市民団体25団体で実施、調査結果は毎年参加した流域の市民団体へ「調査報告書」と「水質・里川マップ」を併せて提供しています。近年は川に流入して海へ流れる「プラスチック製ごみ」の削減活動と併せて、若い世代へ広げる活動をしています。

活動地域 埼玉県・東京都の新河岸川流域及び荒川下流域



県立高校化学部の生徒の協力によりバックテスト
試業等で水質分析測定をしてもらいました

智光山・野草園の会

市内で消滅しつつある自生植物の保護・育成を主な目的とし、週1回、除草、樹木の剪定、堆肥作りなどを行っています。また、智光山公園管理事務所の依頼で、公園内のサイハイランなど希少植物の保護活動も行っています。

活動地域 狭山市



ツリフネソウなどの名札を作成中

NPO法人 秩父の環境を考える会

私たちを取巻く自然環境について、共に学び活動することを目的としています。奥秩父に生息する希少動植物の調査とその保護、荒川のゴミ拾いや昆虫の森づくり、市民への開放講座や学校への出前授業など幅広く活動しています。

活動地域 秩父市



川だいですき！釣りや川の生き物

NPO法人 秩父百年の森

荒川源流域の秩父にて、森でカエデなどの広葉樹の種を集め、畑で育て、大きくなった苗を植樹して針広混交林の持続可能な森づくりを行っています。山、里、街の連携によって豊かな森の復活と地域の活性化を目指しています。

活動地域 秩父市



杉の間伐地で子どもたちと植樹

ツキノワの会

「野生動物と人との共存を考える」を会のモットーに掲げ、自然観察会や自然体験イベント、講演会などを開催しています。秩父では、実のなる豊かな森を再生させるため、市民ボランティアの力で広葉樹の森づくりに取り組んでいます。

活動地域 秩父市



植林地のシンボルツリー（山栗）

NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ

市内に残された里山を次世代へ継承する目的で、2003年に活動を開始しました。「市民の森」の維持管理や自然体験活動を通じて、子どもたちや市民に自然の大切さを感じてもらうために、学童クラブや小学校・保育園の自然体験支援や、竹細工・門松づくりに取り組んでいます。

活動地域 鶴ヶ島市



子どもたちの竹細工づくり

遠ノ平山棚田を守る会

遠ノ平山内洞の棚田は、40年以上手入れされ美しい景観が保たれている、蛍の里として知られています。私たちはこの棚田の下流域にある休耕田を復元し、里地里山一体としての原風景を残したいと、生態系に配慮した稲作に取り組んでいます。

活動地域 小川町



大勢で力を合わせた稲刈りの風景

2018~2022年度の助成先のご紹介

ところざわ地域の自然グループ

「さいたま緑の森博物館」の所沢市分は20.5haあります（入間市分は60ha）。私たちは所沢市分調査地①（面積3,000㎡）を中心に雑木林の再生のための調査と作業を行っています。また「トトロの森」や「カルチャーパーク」「三富横山園」などとともに所沢のみどりを守り、残していきます。

活動地域 所沢市



調査地①の刈り払いを行いました

NPO法人 はとやま環境フォーラム

鳩山町とその周辺地域の良好な自然・生活環境の保全を目的に、環境監視・環境保全・自然観察・文化創造活動を行い、近年は、鳩山町北部地区の「熊井の森」保全のためのトラスト活動に力点を置いて活動しています。

活動地域 鳩山町



熊井の森トラスト地の野鳥観察舎

原市みどりの再生ボランティアの会

当会は毎月第2・第4土曜日の午前中を中心に原市地区の雑木林の保全活動を行っています。下草を刈り、古木を伐採し、若木を植林して、雑木林の若返りを図っており、10年後を楽しみにしています。

活動地域 上尾市



高校と小学生による植林作業

東松山市立市の川小学校 希少野生生物保護増殖プロジェクト

2018年度より、希少動植物のサワトラノオやトウキョウサンショウウオの保護増殖に取り組んでいます。5、6年生が毎日の水やりや餌やりをし、埼玉県こども動物自然公園や川の博物館等と連携しながら環境保護活動を行っています。

活動地域 東松山市



埼玉県こども動物自然公園からトウキョウサンショウウオの卵を預かり、校内で飼育しています

ふかや緑の王国ボランティア

ふかや緑の王国を活動拠点に「市民がつくり 市民が守り育てる 市民の森」をスローガンに活動を行っています。深谷市との協働による王国内の管理をはじめ、梅まつりや森の音楽祭などの四季折々のイベントや各種ガーデニング教室等の開催など、年間を通して様々な活動を行っています。

活動地域 深谷市



「第31回全国花のまちづくりコンクール」
国土交通大臣賞受賞時の記念写真

NPO法人 ふるさと創生クラブ

地域の子どもの安全と健全育成、高齢化社会に対応する地域福祉、良い環境を次世代につなぐための自然保護と環境改善など、活動は多岐にわたっており、全てボランティアです。自然保護・青少年育成・安全・福祉の各委員会で活動を進めています。

活動地域 行田市



ビオトープを利用した魚釣り教室

別府沼を考える会

湿性植物の保護・復元のため、別府沼において水質浄化活動や湿性地の草刈りなどに取組んでおり、熊谷市と合同で観察会なども実施しています。また、ビオトープ池は小・中学生の環境学習・総合学習の場としても活用しています。

活動地域 熊谷市



刈った草を中学生と一緒に清掃

みどりの会（若松小学校周辺の環境を考える会）

会が発足して20年「人とのつながりを大切にしたい」との思いで活動してまいりました。主に地域の小中学校に関わる緑化作業を中心に活動しています。今後も地域に貢献できるような活動に取り組んでまいります。

活動地域 所沢市



若松小学校環境整備（下草刈り）

宮代水と緑のネットワーク

「新しい村」のホツケで里山自然環境の保全活動を行っています。一つ目は田んぼの学校として、田植・稲刈体験をしています。二つ目は自然保護として、「ホタルの里親の会」や「宮代野草クラブ」の開催や、蝶の繁殖を行っています。三つ目は環境学習として、スーパーナイトハイクとホツケの生き物調査を行っています。

活動地域 宮代町



田んぼの学校の田植え体験

未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会

首都近郊20km～30kmに広がる見沼たんぼ地域の環境・歴史・文化の魅力と価値を、100年後の子どもたちに伝え遺す活動をしています。

活動地域 さいたま市（見沼区・北区・大宮区・浦和区・緑区）
川口市



見沼農業応援季刊誌「見沼・旬彩」

2018~2022年度の助成先のご紹介

ヤマガラくらぶ

地元の里山である加治丘陵を、生き物にとってやさしく元気な森にしようと集まったボランティアグループです。毎月第一日曜日を基本として、活動地の間伐・下刈り・散策路整備などを行っています。

活動地域 入間市



間伐材を運び出しているところ

与野・水と緑の会

地域の水と緑を生かしたまちづくりを目的としています。主な活動は、市民参加のドングリの森づくり、年二回の河川水質調査、高沼用水めぐりなどです。また、水環境ネットワークや荒川流域ネットワークなどにより関係他団体との連携を図っています。

活動地域 さいたま市中央区



ドングリの森風景（ドングリから育てて16年目です）

寄居町かたくりを守る会

春の訪れを告げる可憐な花であるカタクリは、町の花です。手をかけて守らないと消えてしまうかもしれない儚さと花の美しさに魅せられて、30年も保護活動を続けています。下刈りや種とりで群生地を保護し、寄居の自然とカタクリの魅力伝えていきたいと考えています。コロナ禍が収束し、観察会を実施する日を楽しみにしています。

活動地域 寄居町



かたくり観察会の風景

和光自然環境を守る会

当会は“生き物と人と風景が溶け合う越戸川”を目指して、月2回のゴミ拾い等定例美化活動に加え、環境啓発のため川まつりや夏休みジャブジャブ大会等のイベント開催、近隣小学校の総合学習の支援等を行っています。

活動地域 和光市



越戸川で総合学習中の小学5年生

[ホームページ](#) [Twitter](#) [Facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

助成先の皆さまからの声をご紹介します

「ひこばえ」第6集の編集にあたり、助成先の皆さまが考える「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」の特長を挙げていただいたほか、期待・応援のメッセージを寄せていただきましたので紹介します。皆さまの声を励みに基金を通じた取組みの一層の充実を目指してまいります。

助成先の皆さまが考える「武蔵野銀行みどりの基金」の特長

- 地元の銀行が運営する県内に特化した基金である。
- 歴史ある基金であり信頼感がある。
- 基金の理念や目的が共感しやすい。
- 対象となる事業費目が広い。

「武蔵野銀行みどりの基金」への期待・応援メッセージ

- 基金は、私たちの地域活動の目に見えない後ろ盾になっています。
- 小さな団体にも助成しており、活動内容をしっかりみていますと感じます。
- 基金の支援もあり、メンバーは生きがいを感じながら活動を行っています。
- 活動団体同士の情報交換の場となるような役割にも期待しています。